



いのちの日便り

2017・6・16
いのち推進
プロジェクト
No. 3

「読み語り」

6月1日の「一中いのちの日」では、各学級の担任による読み語りを行いました。友達や家族の大切さ、自分の生き方や生命について考える本など、「いのち」に関する本の中から、読み語りが行われました。

1年

| クラス | 担任 | 書物名 | 著者名 |
|-----|-------|-------------------------------|-------------------------|
| 1組 | 須賀 信子 | 小学生のボクは鬼のようなお母さんにナスビを売らされました。 | 原田 剛 |
| 2組 | 大場 薫 | チェロの木 | いせ ひでこ |
| 3組 | 櫻井 秀憲 | わたしの「やめて」 | 自由と平和のための 京大有志の会 声明書 |
| 4組 | 眞崎 恵美 | 13歳のキミへ | 高濱 正伸 |
| 5組 | 佐藤 悠介 | ヤクーバとライオン① | ティラリー・デデュー |

2年

| クラス | 担任 | 書物名 | 著者名 |
|-----|-------|-------------------|------------|
| 1組 | 三瓶 大輔 | へいわってすてきだね | 安里 有生 |
| 2組 | 長岡 緑 | ぼくたちはなぜ学校へ行くのか | 石井 光太 |
| 3組 | 岩田 栄彦 | 考える練習をしよう | マリリン・バーンズ |
| 4組 | 前原貴央里 | この世にまた赤ちゃんが生まれました | 梶尾 秀夫 |
| 5組 | 岸野 正子 | 3つのなぞ | ジョン・J・ミュース |

3年

| クラス | 担任 | 書物名 | 著者名 |
|-----|-------|-----------------|-----------|
| 1組 | 瀧川 志保 | かぎりなきやさしい花々 | 星野 富弘 |
| 2組 | 村山 隆太 | ハードワーク | エディ・ジョーンズ |
| 3組 | 今 千春 | トットちゃんとトットちゃんたち | 黒柳 徹子 |
| 4組 | 鈴木 玲子 | ランドセルは海を越えて | 内堀タケシ |
| 5組 | 林谷 佳典 | 考え方 | 稲盛 和夫 |

ひまわり

| クラス | 担任 | 書物名 | 著者名 |
|-----|--------|----------------|--------|
| 1組 | 鈴木 秀人 | わたしのいもうと | 松谷 みよ子 |
| 2組 | 上田 智佳子 | おかげさま「いのちのまつり」 | 草場 一壽 |
| 3組 | 高橋 万由 | 王さまと九人のきょうだい | 君島 久子 |

生徒のみなさんの感想より

この本を読んでもらって家族のつながりというのをすごく感じました。子どもに生きる方法を教えるためにお母さんが鬼のようになった時は、自分を悪役にしてみても伝えたので、子どもをすごく思いやっているのだなと思いました。(1年1組 渡邊 那菜さん)

ヤクーバはライオンをしとめるためではなく、仲間はずれになっても気高い人間になるために勇気を出した。村の人たちのことを思ったのだと感じた。(1年5組 横川 夏美さん)

小学1年生の安里くんが思った平和を続けていけるような世界になってほしい。何年後かに社会に出る自分たちが平和を作っていきたい。(2年1組 岡崎 敦也さん)

6才なのに、平和について考えるってすごいなと思いました。平和なんて僕は全然考えたことないし、それを本にするなんて、本当にすごいと思いました。(2年1組 高山 玲旺さん)

私は、今回読んでいただいた本で、たくさんのことを考えました。大事な人は、そのときにより変わる。家族だったり、友だちだったり。これからは、一人一人を大切にしていきたい。(2年5組 吉田 万桜さん)

今この時が一番大事で、そばにいる人が大切で、その人のためにすることが大切なのだとわかりました。今自分がすべきことは何なのかを常に考えて、後悔しないように行動していきたいと思いました。(2年5組 佐藤 悠星さん)

星野富弘さんの前に立ち上がった大きな壁を、最後まで絶対にあきらめなくて、乗り越えるという気持ちが伝わってきた。どんな困難にも負けずに頑張ってきた星野さんを尊敬したいと思った。(3年1組 相田 直哉さん)

どの言葉も深く、なるほどと思うことが多かったのですが、特に「願望」の、努力を続ければいかなる困難があっても実現するという言葉が学校生活でも生かせるので良いなと思いました。(3年5組 堀川 真優さん)



みなさんの感想には、新たな考え方に気づき、自分と周囲の人々のいのちを大切に生活しようとする思いが綴られていました。

次回の「一中いのちの日」は、7月5日に行います。山形県立河北病院の奥山慎一郎先生を講師にお迎えし、がんについての講話をお聞かせします。(プロジェクト担当)